



田村市立都路中学校

長崎派遣事業



田村市

主催 田村市立都路中学校

問合先 0247-75-2009

【目的】

東日本大震災と福島第一原発事故の大きな影響を受けた都路町の子どもたちが、核兵器の廃絶と平和を希求する気持ちを高め、ふるさとの復興・創生を担う人材となるための意欲と実践力を身に付ける。

事前学習会

長崎派遣事業には、2名の生徒が参加しました。また、7月の放課後と夏休み中に、事前学習会を15回程度行いました。ピースフォーラムに参加するための準備や長崎市内の中学生との交流のために、プレゼンテーションの作成・練習を行いました。長崎派遣中の宿舎においても、事前学習会を行いました。参加生徒は、互いの意見を尊重し合い、理解し合い、絆を深めることができました。



青少年ピースフォーラムへの参加

ピースフォーラムへ参加し、全国から集まった多くの中高生とともに、被爆体験を聞いたり、意見交換を行ったりしました。また、長崎市立片淵中学校の平和集会に参加し、プレゼンを行うとともに、世界の核兵器廃絶に向けて意見交換をすることができました。



長崎派遣報告会

10月21日、本校の文化祭である「藍爽祭」において、全校生・保護者・地域の方々に対して、長崎派遣の報告会を持ちました。報告会では、片淵中学校で発表したプレゼンを実際に行うとともに、自分たちの平和に対する思いを次のように述べました。「原発事故という一つの出来事が福島を傷付け、一発の原子爆弾が長崎の人たちのすべてを奪った。核の脅威は私たちに無関係ではない。悲劇を繰り返さないために、何ができるかを考えたい。」

また、派遣に参加した生徒たちは、多くの出会いや体験から、ふるさと都路を元気にしたいという思いを自分たちが受け継ぎ、ふるさとを魅力ある町にするにはどうしたらいいかを深く考えることができました。

